

助成年度：平成 25 年度

[所属] 明石工業高等専門学校

[役職] 講師

[氏名] 石田 祐

[課題]

環境系NPO法人の財務の多様性・持続性・安定性に関する実証研究

[内容]

本研究では、環境系のNPO法人の財務に着目し、(1)収入の状況および財源の多様性を明らかにすること、その上で(2)環境系NPO法人の持続性と安定性に対して、財源の多様性やその他の社会環境などの要因がどのように寄与しているかについて実証的に分析を行うこと、そして(3)環境系NPO法人が自立し存続しうる社会モデルを考察することを目的として設定した。

最初のステップとして、データベース化されていないNPO法人の財務情報を分析するためのデータセットの構築に取り組んだ。次に、分析データセットの構築においては、まずNPO法人の財務状況を捉える指標に関する議論をもとに変数を作成した。また、環境変化がNPO法人の収入や支出に与える影響を考慮するために、東日本大震災による被害の大きかった宮城県を中心にデータ入力を行った。そして、最後のステップとして、3か年度分のデータを用いて、各年度でどのような違いがあるかを、環境系NPO法人とそれ以外のNPO法人の2群のグループに分けて分析を行った。

計量分析の結果、環境系NPO法人は財源多様性および社会的支援助入比率が、その他の団体よりも比較的高いこともあり、安定的・持続的に活動を行うことができると言える。また、震災の影響を加味した結果、環境変化という社会的な外的ショックがあった場合、多様な財源を確保している団体は短期的に事業を実施するという示唆が得られた。したがって、環境系NPO法人の自立モデルとしては、短期的持続性を高めうる規模の拡大ということが課題になると言える。そしてそのためには、事業収入比率を高めることが求められる。そのためのプログラムづくりが、課題克服のために必要である。